

赤潮プランクトン情報（第 2 1 報）

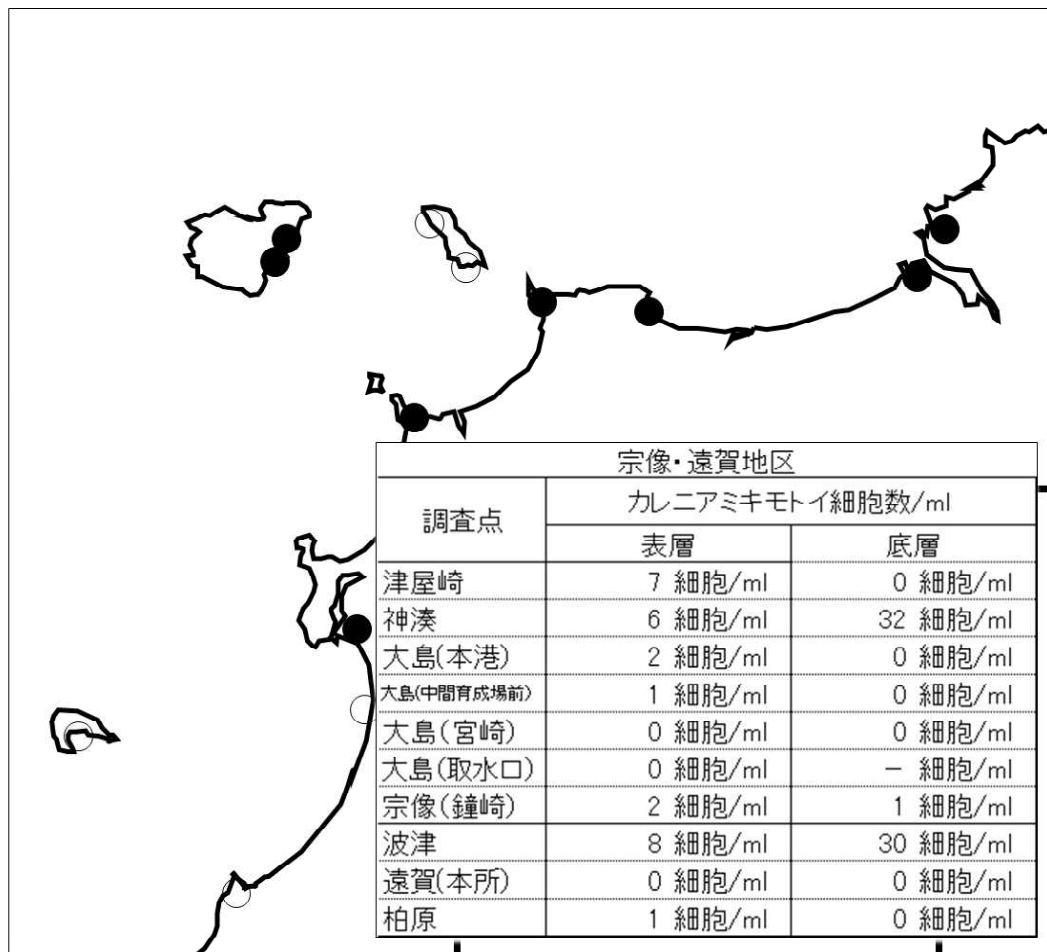
福岡県水産海洋技術センター

平成 2 7 年 8 月 5 日

平成27年 8 月 5 日に県内の漁港で調査を実施したところ、魚介類に有害なプランクトン（カレニア ミキモトイ）の発生が引き続きみられるものの、減少傾向にあります。

カレニア ミキモトイは表層で着色が見られなくても中・底層でも高密度に増殖する可能性があります。魚類や貝類は蓄養せずに出荷するなど十分に注意して下さい。

*カレニア・ミキモトイは魚介類に有害で、特にアワビ、サザエは数 1 0 細胞/ml でもへい死することもあります。魚類は 1 0 0 細胞を超えると注意が必要で、5 0 0 細胞/ml を越えるとへい死することもあります（イケマ内でも活力の低下や斃死することもあります）。



漁場でアワビが弱ったり、海水が着色していた場合などは当センターへ至急連絡願います。また被害状況は随時、情報を収集しますので組合で集約しておいてください。

連絡先 福岡県水産海洋技術センター
研究部 資源環境課 秋本・恵崎・杉野・里道・片山
0 9 2 - 8 0 6 - 0 8 8 4